

イモリ

創刊号

しんぶん

発行日：2021年 9月 28日

発行：朝日塾中等教育学校 理科

アカハライモリ飼育への挑戦

2020年になったばかりの頃、理科室で飼っていたアカハライモリが卵を産んでいるところを見つけました。そのあと孵化させて育ててみましたが、2学期を迎える頃には全滅させてしまいました。

そして2021年、今度は3月頃でした。メスのお腹が膨らんでいるのを見かけて、卵を産むんじゃないかと考え、水草を入れてみると、翌日にはその水草に卵を生み付けていました。

今度こそ全滅させないぞと意気込み、試行錯誤を重ねて今日まで飼育してきました。今では60匹以上のアカハライモリたちが物理実験室で暮らしています。

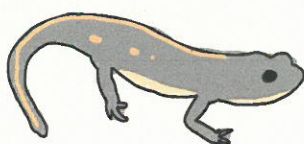
この新聞は、物理実験室で暮らしているアカハライモリについて知ってもらうために作った新聞です。この新聞を読んで、アカハライモリの生態や、飼育について興味を持っていただければと思います。

アカハライモリとは？

学名 *Cynops pyrrhogastor*

分類 両生綱 有尾目 イモリ科

分布 本州、四国、九州とその周辺の島嶼



こんな感じ

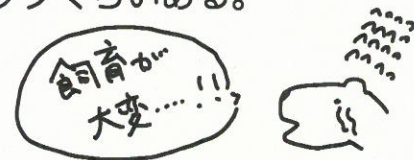
イモリ幼体の飼育のようす



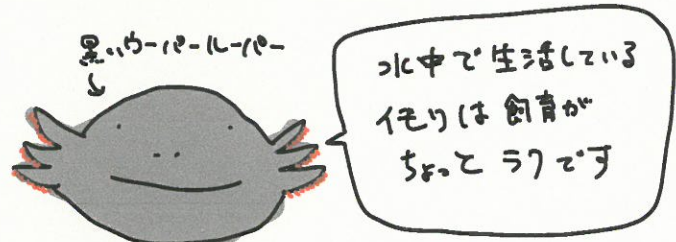
←タッパーに入れたアカハライモリ。これが20パックくらいある。



←丸型のパックに入れたアカハライモリ。これが40パックくらいある。



↑水中生活をしている幼体もいる。これがあと10匹くらいいる。



水中のイモリはわりーぱーるーぱーに似ている

次回 卵編